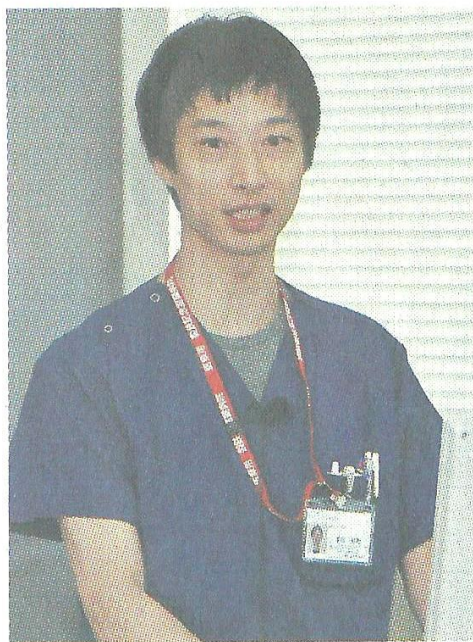


「肩の痛み」症状や治療法紹介

製鉄記念室蘭病院 市民健康セミナー



「肩の痛み」の原因となる症例などを解説する亀田整形外科医長

製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「第27回市民健康セミナー」が23日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民ら60人が、肩が痛い、上がらない原因などについて理解を深めた。

亀田裕亮整形外科医長が「肩が痛む原因の80〜90%を占める」といっインピンジメント症候群（引っ掛かり）、肩腱板断裂、肩関節周囲炎（五十肩）の症状や治療法を話した。

この中で亀田医長は「インピンジメント症候群は、肩に引っ掛かりを感じる」と、炎症による痛みが生まれ、腱板が腫れ、また、肩

に引っ掛かりを感じるとい
う悪循環に陥る」「肩腱板
断裂は、手術以外ではつな
がらない。末期は関節が壊
れてしまつ」と説明。

その上で、これら三つは
「どれも症状が似ているた
め、レントゲン画像と磁気
共鳴画像装置（MRI）画
像で判別する」とし、「放
置してはだめな場合も
あり、肩の痛みで困った時
は整形外科を受診するこ
と」と強調。市民らは熱心
に耳を傾けていた。

（松岡秀宜）